

授業概要

産業組織論は資本主義経済における市場メカニズムを検討対象にしており、財・サービスの供給主体である企業・企業グループの市場行動や、それらが属する産業部門での行動原理が研究の対象である。この授業では、競争と独占、企業行動、政府規制と規制緩和、産業国有化と民営化などをテーマに、電気事業や鉄道事業などでの企業行動や、競争・独占・規制と市場メカニズムとの関連を講義する。

授業計画

第 1 回	産業組織論でなにを学ぶか
第 2 回	資本主義経済と市場メカニズム
第 3 回	市場競争と独占
第 4 回	産業構造と企業行動
第 5 回	公益事業と政府規制
第 6 回	規制緩和・規制改革
第 7 回	電気事業における競争・独占・規制
第 8 回	電力自由化と原発・再生可能エネルギー
第 9 回	産業国有化と民営化
第10回	資本主義経済の発展と鉄道事業
第11回	交通市場と鉄道改革
第12回	イギリスの鉄道民営化とその結果
第13回	市場メカニズムと安全規制
第14回	地域公共交通と災害対応
第15回	交通市場と運賃無料化
第16回	筆記試験

到達目標

資本主義経済における市場競争と独占、電気事業や鉄道事業における競争・独占・規制、規制緩和と民営化について、現状を理解し、そこでの変化に対処するための考え方・方法を身に付けることができる。

履修上の注意

毎回出席し、授業内容を理解するよう努めること。

予習・復習

事前に授業テーマに関わる資料を配布し、予習が可能になるようにする。また、配布資料で授業内容と関連する新聞・雑誌の記事・論稿、参考文献を指示し、復習しやすいようにする。

評価方法

毎回、授業の理解度を確認するペーパーを書いてもらい、筆記試験の成績に加える（学期末試験 70%、リアクションペーパー30%）。

テキスト

テキストは使用しない。毎回資料を配布する。授業の中で参考書等を指示する。